経理ご担当　システムご担当　の皆さま

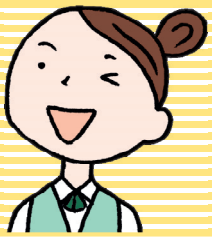
ZEDI

振込が便利になります!

2018年12月(予定)から、総合振込において、さまざまな情報(支払通知番号、請求書番号など)を受取企業に送ることが可能になります!
そのお手伝いをするのが「全銀EDIシステム(Zengin EDI system)」(愛称:ZEDI(ゼディ))です。

振込がどう便利になるの?

振込の際に送信できる情報量が増えるのよ



総合振込の際にお使いのフォーマットに設定可能な情報が拡充します

現状	振込先・金額情報	EDI情報(20桁まで)
今後	振込先・金額情報	拡充されたEDI情報(XML電文)

情報量がドーンと増えます!

取引情報や受発注情報等の設定が可能

EDI情報:支払企業から受取企業に伝達するメッセージ。支払企業側が設定
XML電文:電文の長さなどを柔軟に設計・変更することが可能な電文方式

〈全銀EDIシステム構築の背景〉
未来投資戦略2017
金融EDIの活用を起点とした「企業の成長力強化のためのFinTechアクションプラン」※により、財務・決済プロセス全体の一括した高度化を図る。
※「金融EDIの推進等による金・商流連携の推進」の中で、金融機関におけるXML電文化について、2018年中のXML新システム稼動等に着実に取り組むとされている

どのように便利になるのか?　お客様がご利用された場合のメリットは?　裏面をご覧ください。

情報の拡充により、経理関係事務を効率化

お金を受け取る企業（受取企業）

現状

消込業務に膨大な時間とコストが…

今後

売掛金の消込作業※が効率化

お金を振り込む企業（支払企業）

特定できなければ、支払企業に問合せ

振込先企業からの問合せ対応が大変！

問合せへの対応負担が軽減

※消込の自動化には、会計ソフト等の導入が必要となります。

受取企業と支払企業の双方において、生産性向上や人手不足解消につながります。

将来的なEDI情報の活用策

アイデア1 電子領収書としての利用

電子領収書のメリット

支払企業	受取企業
▶領収書の保管コストの削減	▶印紙税が不要
▶領収書の管理負荷の軽減	▶領収書作成・郵送 コストの削減

アイデア2 取引金融機関による新たなサービスの提供

想定事例1	想定事例2	想定事例3
コンサルタント機能や提案活動	ビジネスの将来予測や業界動向の分析	取引情報分析による小口融資等

ZEDIを利用するには…

現在の振込方法

ATM、銀行窓口、ファクシミリ

ファームバンキング、インターネットバンキング

利用に必要な対応

- ファームバンキング、インターネットバンキングへの加入
- ソフトウェアのバージョンアップ等

ZEDIに対応したファームバンキング、インターネットバンキング

全国銀行協会では、その他にも振込時間拡大（全銀システムの24時間365日稼動化。2018年10月予定）などの決済高度化に向けた取組みを進めています。

詳細は、取引金融機関に直接お問合せください。

もっと詳しく知りたい場合はWebで

https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/

全銀EDIシステム　検索

金融庁　経済産業省　中小企業庁　全国銀行協会

2018.1